

平成23年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀市立成章中学校		
2 所在地	佐賀市成章町7番1号		
3 校長名	石丸 和人		
4 学級数 児童生徒数	15学級 467人	5 実施学年 児童生徒数	1年 2年 3年 162人 145人 160人

6 取組のねらい

平成23年12月22日に新校舎に移転し、24年1月から新校舎での生活が始まる。新校舎移転を節目とし、次のねらいで平成23年度は取り組むことにした。

- 学校目標である 心豊かに、自ら学ぶ、思いやりのある生徒像に迫るために、日頃から交流活動を推進する。
- 新校舎での生活が開始されるときに、成章中の生徒、職員が迷わなくて済むように掲示物を工夫する。その際、ユニバーサルデザインの7原則を意識する。

※ユニバーサルデザインの7原則 (1) どんな人でも公平に使えること (2) 使う上で自由度が高いこと (3) 使い方が簡単で、すぐに分かること (4) 必要な情報がすぐに分かること (5) うっかりミスが危険につながらないこと (6) 身体への負担がかかりづらいこと(弱い力でも使えること) (7) 接近や利用するための十分な大きさと空間を確保すること

7 取組の実際

(1) 校内案内掲示、校舎鍵板をわかりやすく工夫して掲示、作成。
生徒会の中心となるメンバーが第2学年になり、新校舎をより過ごしやすく安全な生活ができるようにしようと、掲示や鍵ボードの工夫を行っている。



部屋の案内表示
(案内の充実)
来校者も迷わないように
掲示



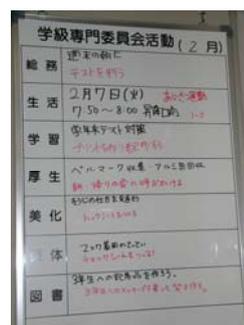
エレベータ使用上の注意
困った人が使える環境
を整える。



部屋の位置表示と鍵ボード
視覚的に鍵を探せるように
校舎図の部屋の位置に鍵を
取り付けている。

(2) 生徒会活動の表示ボードを全学級、職員室にいれ、7原則(1)(4)を果たせるようにした。

これまで学年の掲示板に一つずつしかなく、生徒会活動の内容が、一部の生徒にだけしか分かっていない状況も見られることがあった。生徒会活動をこれまで以上に生徒全員で共有化させ、確認できるようにするという発想で、全学級掲示を行うようにした。



学級専門委員会活動(2月)	
総務	通学帰りに 2月5日(火)
生活	2月7日(水) 心の活動 17:50~8:00 昇降口前
学習	学年学習対抗 2月10日(土) 体育館
厚生	ベトナム福祉義演 学級活動 2月11日(日) 体育館
美化	2月の活動 2月12日(月) 体育館
体育	2月の活動 2月13日(火) 体育館
図書	2月の活動 2月14日(水) 体育館

(3) 家庭科学習での取組

成章保育所の幼児に第3学年の生徒が本を読んだり、ゲームをしたりするなどの交流活動を家庭科の時間に行っている。この体験を通して、生徒は、わかりやすく伝える大切さも体感している。



また、第1学年の家庭科において、ユニバーサルデザインの意味や実例を取り扱う授業を行った。

8 取組の成果と課題

本校は、7(3)にあげた交流活動以外にも、交流活動を日常的に行っている。特別支援学級2学級、通級指導教室2学級と普通学級との交流である。その為、障害も持っている人も、不自由なく生活できるようにする意識は高い。また、学校目標は、「心豊かに、自ら学ぶ、思いやりのある生徒」であり、日頃から、校長講話の中で「困っている人を助ける。」事を繰り返し伝えている。そのため、ユニバーサルデザインの意識はその言葉は知らなくても、もともと高いものがある。

今回の取組を通して、そうした意識や心がけを、実践する活動として、新校舎を充実させるという活動につながっている。

1月に新校舎に移ったばかりであり、みんなが困らないようにと言う思いで掲示物等を作成している段階であるので、これから気づき、工夫改善できることも多いと思われる。充実していくことが課題である。